

ピックアップアップ2

さやりんポイントで

生活支援と地域活性化

さやりんポイント付与事業—決算額796万円
大阪狭山市地域ポイント促進事業—決算額1億2498万円

《さやりんポイント付与事業》 インスタグラムフォトコンテストや禁煙推進ポスターコンクールの入賞者、介護予防啓発講演会への参加者、ぼっぴえんでのボランティア参加者などに、市内の加盟店で1ポイント11円として使用できるさやりんポイントを付与しました。

《大阪狭山市地域ポイント促進事業》 新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響を踏まえ、市民や市内事業者への支援および地域経済の活性化を目的に、さやりんポイントをチャージした場合に、30%分のさやりんポイントを追加で付与しました。

また、さやりんポイントの利用期間にあわせて、市役所、ニータウン連絡所にサポート窓口を設置し、スマートフォンアプリ「Chirica」のインストールなどを支援しました。また、スマートフォンを持っていない人もキャンペーンに参加できるよう、希望者にチャージ機能付き磁気カードを配布しました。ポイントの利用率は、99.2%と高いものとなりました。業種別使用状況は、スーパー、ドラッグストアで約70%を占め、ポイントの大半が生活必需品に使用されています。



市内の公立学校園（幼稚園・こども園・放課後児童会・小学校・中学校）で一貫したICTシステムを導入し、保護者の利便性向上および学校園の事務を効率化しました。

●保護者との連絡機能と一斉配信機能

緊急情報の一斉配信や個別の出欠連絡などが可能となります。また、学校園からプリントなどの通知物の配信が可能となり、ペーパーレス化や学校園・保護者双方の通知を効率化しました。今後は、児童・生徒を見守る地域住民へアカウントを発行し、学校からの連絡をスムーズに行えるよう連携していきます。



●登校園・出退勤管理機能 児童・園児の入退室時間の管理機能による保護者への通知により、安全・安心の確保と幼稚園・こども園・放課後児童会の延長利用記録などのデジタル化を図るとともに、職員の出退勤管理事務を効率化しました。

今後は、幼稚園・こども園・放課後児童会における諸経費などをキャッシュレスで納付できるよう、環境整備を進めていきます。

ピックアップアップ3

公立学校園における保護者の利便性の向上と事務効率化

学校園一貫ICTサービス展開事業—決算額7047万円

ピックアップアップ4

子どもや家庭に

関する相談に対し

切れ目のない支援

こども家庭センター設置事業—決算額0円

核家族化で子育てに困難を抱える家庭が増えており、児童虐待を予防する観点などから、妊娠期から切れ目なく寄り添う支援が必要となっています。

これまで、母子保健部門の保健師などが、子どもの健やかな育ちを応援し、児童福祉部門の社会福祉士などは、福祉的な視点で子育て支援を行ってきました。

今後、両部門が一体的に支援を行うため、令和6年4月に「こども家庭センター」を開設し、社会福祉士、精神保健福祉士などの相談員を増員するなど、体制を整えました。これにより、切れ目のない支援がより一層可能となり、異なる職種の職員がそれぞれの専門性を生かすことで、子育ての困りごとを多角的に捉え、必要な支援のコーディネートができるようになります。

今後は、新たなサービスの充実にも取り組み、支援の選択肢を増やすことで、一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供していきます。



相談
支援

